



鹿児島日英協会 ニュースレター
**The Japan British Society of
 Kagoshima Newsletter**

第 13 号

No.13 September 2020

会長あいさつ ～ニュースレター第13号発行に寄せて～

鹿児島日英協会会長 島津公保

日頃から、当協会の皆様には、会の運営等にご協力いただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

さて、本年初めから世界的に広がった新型コロナウイルス感染症により、世界の全ての国において社会活動、経済活動が大きく制限されることとなりました。

当協会においても本年3月以降に予定されていた講演会等の行事が全て延期や中止となり、特に、夏の終わりに企画していた久しぶりの英国ツアーも延期せざるを得なくなりました。それぞれの行事を楽しみにしておられた皆様には大変申し訳なく思っているところです。

幸に、エッセイコンテストとフォトコンテストには、それぞれ何件もの応募をいただき、皆様の英国への熱い思いを感じたところです。今年度の総会の席上において、表彰式を行います。ご協力いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

また、昨年より話のありました英国にある東郷平八郎ゆかりの銀杏を枝分けし、わが国へ帰郷させるプロジェクトは、苗木がすでに広島に到着して、呉市や東郷神社では植樹が完了し、横須賀市ほかの地域も植樹の準備が整いつつある状況にあります。東郷の生誕地であるご当地では鹿児島市の協力を得て、11月に当協会が主体となって、多賀山公園内にて植樹式を行うこととしております。この銀杏の木をご縁として鹿児島と英国の絆が更に深まりますよう期待したいと思います。このプロジェクトの実施には、皆様からの寄付を募り進めて参ります。別途、寄付のお願いをさせていただきますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

先日、鹿児島中央駅前に設置されている薩摩の若き群像に、薩摩藩以外の出身者ということで設置が見送られていた堀孝之（長崎）、高見弥一（土佐）の二人の像が加えられ、19人が揃ったモニュメントが完成しました。薩摩藩は当時、15人の留学生と4人の外交使節、併せて19人を英国に派遣しました。38年前の記念碑建立時のいきさつは詳しく知りませんが、改めて、全員がそろった薩摩の若き群像として広く評価、顕彰されるものになることを喜びたいと思います。

まだまだ、コロナ禍での影響は続いています。皆様には、呉々もお元気にお過ごしください。一日も早く、心置きなく当協会の活動が行われることとなりますよう祈念しております。

目次

- ① 令和元年度 第2回鹿児島日英協会理事会のご報告 . . . P.2
- ② 令和元年度の事業報告 . . . P.2
- ③ 令和2年度のイベント予定 . . . P.2
- ④ イギリスひとくちメモ . . . P.3
- ⑤ 東郷リターンズ 植樹セレモニー及び寄付のお願い . . . P.4

① 令和元年度 第2回 鹿児島日英協会理事会のご報告

日時：令和2年3月20日（祝金）

会場：ホテルパレスイン鹿児島（鹿児島県鹿児島市樋之口町8-2）

先日令和2年度第1回鹿児島日英協会理事会が開催され、当協会の事業内容確認とプロジェクト等における中間報告・決算中間報告をいたしました。

日英友好協会が解散したことから、同会員有志が当協会に合流し、田中京子氏、吉満庄司氏、喜平ユカリ氏が理事に加わりました。

② 令和元年度の事業報告（コロナウイルス拡大防止のため、中止・延期となった事業があります。）

- | | | |
|----------|---------------|------------------|
| 1. 青年部主催 | 第3回 Pub Quiz | 3月14日 中止。 |
| 2. 協会主催 | 鹿児島日英協会第2回理事会 | 2020年3月20日（祝） |
| 3. 協会主催 | マンチェスター学芸員講演会 | 3月29日 延期。日程未定。 |
| 4. 協会主催 | 第4回エッセイコンテスト | 7月末締切 実施済み。 |
| 5. 青年部主催 | 第2回フォトコンテスト | 8月末締切。実施済み |
| 6. 協会後援 | マルメンカルテット鑑賞会 | 7月1日 延期。来年7月予定。 |
| 7. 協会主催 | イギリス旅行ツアー（仮） | 8月25日～ 延期。実施日程未定 |

行程案：7泊9日 鹿児島中央駅→福岡空港→仁川空港経由→ヒースロー空港→ロンドン滞在
観光都市：ロンドン・エディンバラ・マンチェスター・ストークシティ・サザンプトン・ポーツマスなど
旅費：おおむね45万円前後（日本国内の移動費・航空費・宿泊費・燃料サーチャージ代・出入国税・チップ込）

③ 令和2年度のイベント予定（コロナウイルス感染状況により、中止・延期となる場合があります。）

- | | | |
|----------|---|----------------|
| 1. 協会主催 | 鹿児島日英協会第29回総会
第4回エッセイコンテスト
第2回フォトコンテスト表彰式 | 2020年10月25日(日) |
| 2. 協会主催 | 第1回理事会 | 2020年10月25日(日) |
| 3. 協会主催 | 東郷リターンズ・植樹セレモニー | 2020年11月22日(日) |
| 4. 青年部主催 | 第3回 Pub Quiz | 日程未定 |
| 5. 協会主催 | マンチェスター学芸員講演会 | 日程未定 |
| 6. 協会主催 | 第5回エッセイコンテスト | 2021年7月末締切 |
| 7. 青年部主催 | 第3回フォトコンテスト | 2021年8月末締切 |
| 8. 協会後援 | マルメンカルテット鑑賞会 | 2021年7月予定 |
| 9. 協会主催 | イギリス旅行ツアー（仮） | 実施日程未定 |
| 10. その他 | | |

④ イギリスひとくちメモ

ミニチュアハウス

(文責：理事 酒瀬川純行)

小鳥や動物のフィギュア、絵皿、カップ、ティーポット、陶花、トリンケットボックスなどキュートなイギリスインテリア小物も枚挙にいとまがないが、妻と私のコレクションの一つにハンドメイドのミニチュアハウス Lilliput Lane Cottage がる。

1982年創業と歴史は浅いが、イングランドやウェールズの著名な建物や藁葺き屋根の民家などをモデルにほぼ76分の1サイズで実物そっくりにしたこの作品のシリーズ、その精巧さとイギリスらしさが人気となり、50を超える世界の国々に蒐集家も広がった。イギリス愛好家にとっては個々の作品の醸す「古き良きイギリス」(Good old England)へのノスタルジアがたまらない。

ところが最近、イギリスではあまり店頭で見かけなくなってきた。調べてみると、残念ながら製造元が2016年に廃業したという。素晴らしい作品群であっただけに大いに惜しまれるが、蒐集熱にはかえって拍車がかかりそうだ。



Anne Hathaway's Cottage (1989)



Castell Coch, Wales (1994)

★鹿児島日英協会URL：

<http://jbsk.jp/>



★鹿児島日英協会青年部 Facebook：

Japan British Society of
Kagoshima Youth Division



【鹿児島日英協会所在地】

〒892-0871

鹿児島市吉野町9700-1 (株式会社島津興業内)

TEL：099-247-7000 (代表)

FAX：099-247-9539

E-mail：jbskagoshima@yahoo.co.jp

⑤ 東郷リターンズ・植樹セレモニー及び 寄付のお願い

・東郷リターンズ（東郷平八郎ゆかりの銀杏の木 帰郷プロジェクト）とは（2019年12月29日 産経新聞掲載記事より）

英国ウェールズで明治初期に建造された日本海軍の軍艦、初代「比叡」（コルベット艦）への謝意として明治政府が英国に寄贈し、大木に育った銀杏（いちょう）の苗木約15株が24日、日本に“帰郷”し、栽培育成したウェールズ国立植物公園から広島市植物公園に届けられた。

英ペンブローックで1877年行われた比叡の進水式で、上野景範（かげのり）駐英特命全権公使らが銀杏を英国側に寄贈。留学生だった東郷平八郎が艦装（ぎそう）員として滞在した英海軍官舎の庭に植えた。東郷が帰国し、日本海海戦でロシアを破る大活躍をしたため、地元では「東郷ゆかりの銀杏」と語り継がれてきた。

地元郷土史家、デービッド・ジェームズさん（81）は、「銀杏を日英友好のシンボルとして帰郷させたい」とプロジェクトを始め、依頼を受けたウェールズ国立植物園は、無償で「挿し木」の技術で苗木約15株を育てた。

旧軍港都市の広島県呉市の新原芳明市長のコメントを同市文化スポーツ部の神垣進部長が代読し、「今年から来年は呉鎮守府が開庁して130周年。植樹にふさわしい年の帰還を祝いたい。日英友好の歴史の証人として、長く引き継いでいきたい」と述べた。

苗木は日本郵船関連会社の郵船ロジスティクスが無償で空輸し、同植物公園が日本の土壌に順応、養生させた後、来年4月末から5月、呉市、京都府舞鶴市、長崎県佐世保市、神奈川県横須賀市のほか東郷元帥の出身地、鹿児島市や東郷神社（東京都渋谷区）などに移送される。



上記写真は2020年7月1日付 広島県呉市入船山記念館 HPに掲載された植樹セレモニーの様子。入船山記念館公式 HP URL: <http://irifuneyama.com/>

・鹿児島では鹿児島日英協会が受け入れ窓口

このプロジェクト関係者から当協会が最初に情報提供を受け、東郷平八郎の生誕地として、鹿児島への受け入れをするべきとの考えのもと、行政と当協会が2019年2月より折衝を進めてきました。最終的に行政が直接誘致するのではなく、民間ベースの友好行事として、苗木の受け入れを行い、鹿児島市のご了解の元、東郷平八郎ゆかりの公園である多賀山公園内に植樹し、その後市の公園としての管理をしてもらうこととなりました。今回の東郷リターンズプロジェクトにおいて、民間団体主導で私有地ではない行政の区画に接受をするのは全国の中で鹿児島だけとなります。そこで民間団体主導ということもあり、この場をお借りして、有志の皆様へ植樹に必要な経費等の寄付をお願いしたい所存です。目標は30万円です。内訳としましては、搬送費用、植樹までの維持管理費用、植樹費用、銘板設置費用、植樹セレモニー費用等が主なものとなります。1口1,000円から上限なしとさせていただきます。



上記写真は実際の植樹予定場所＝鹿児島市公園緑化課管理 多賀山公園にて2020年9月11日(金)現地確認中の島津会長。

寄付の手順は以下の通りです。

1. 指定口座へ寄付金のお振込み 【お振込み先指定口座】 ゆうちょ銀行 01770-0-67480
2. 添付の寄付申請書を協会事務局に郵送、FAXまたはPDFで協会事務局へ添付メール送信

なお、この「東郷リターンズ」プロジェクトに寄付を頂いた方々は次号のニュースレター14号にてお名前を掲載させていただきます。予めご了承ください。みなさまのご協力をお願いいたします。